

米国で乳牛の高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)感染

＜肉牛農家にも情報共有します。ご注意ください＞

米国の6州で乳牛へのHPAIウイルス(H5N1亜型)感染が15例確認されています。(R6.4.8 現在)

◆主な臨床所見

泌乳量の減少、食欲低下、濃厚/退色した乳、抑うつ、発熱、脱水

(事例)

- ・反芻とルーメンの運動性の低下を伴う飼料摂取量の急激な減少
- ・その後、群単位での泌乳量の著しい低下。重症の牛では初乳のような濃厚な乳または無乳
- ・糞尿の変化 - ほとんどの報告では、罹患牛で粘着便～乾燥便

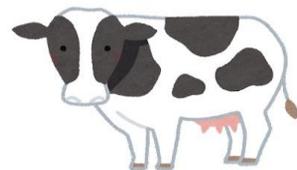
◆疫学

- ・初期の事例では農場内に死亡野鳥を確認し、野鳥によるウイルスの持ち込みがあったと思われる。
- ・牛から牛への感染の可能性が排除できない事例あり。
- ・感染が推定される牛との接触者1名で感染確認(結膜炎症状の後に回復)。

◆予防対策

○飼養衛生管理基準の遵守

- ・畜舎の給餌設備・給水設備・飼料保管庫に野鳥の排せつ物が混入しないようにする
- ・ペット(犬、ネコ等)や野生動物を近づけない
- ・複数の畜種を一緒に飼養しない
- ・新たに導入した牛の隔離、観察



○適切な搾乳作業の実施

- ・特に乳房の衛生に注意し、器機の消毒、病気の牛の搾乳は別で行うまたはパーラー洗浄前の最後に行う

※ 記載のような臨床所見がみられた場合は、牛を隔離のうえ獣医師・家保にご相談ください。

滋賀県家畜保健衛生所

(本所)

近江八幡市西本郷町226-1

TEL: 0748-37-7511 FAX: 0748-37-4821

緊急携帯: 090-3613-7486

(北西部支所)

高島市今津町弘川249-1

TEL: 0740-22-2145 FAX: 0740-22-6681

緊急携帯: 080-6176-8052